

石川県地域緩和ケア研究会

代表： 大和 太郎(やまと@ホームクリニック)

1. これまでの取組内容
2. 具体的な成果
3. 今後も継続して実施する必要性
4. 今後の取組と期待される効果

1. これまでの取組内容

目的

県内の医療介護従事者および県民に対する
ACPおよび緩和ケアの普及・啓発
⇒ がん患者とその家族のQOL向上

目標

会員の実践能力の
スキルアップ

施設間の
ネットワーク構築

緩和ケアの専門的知識や
技術の普及

活動

コミュニケーション
スキル研修

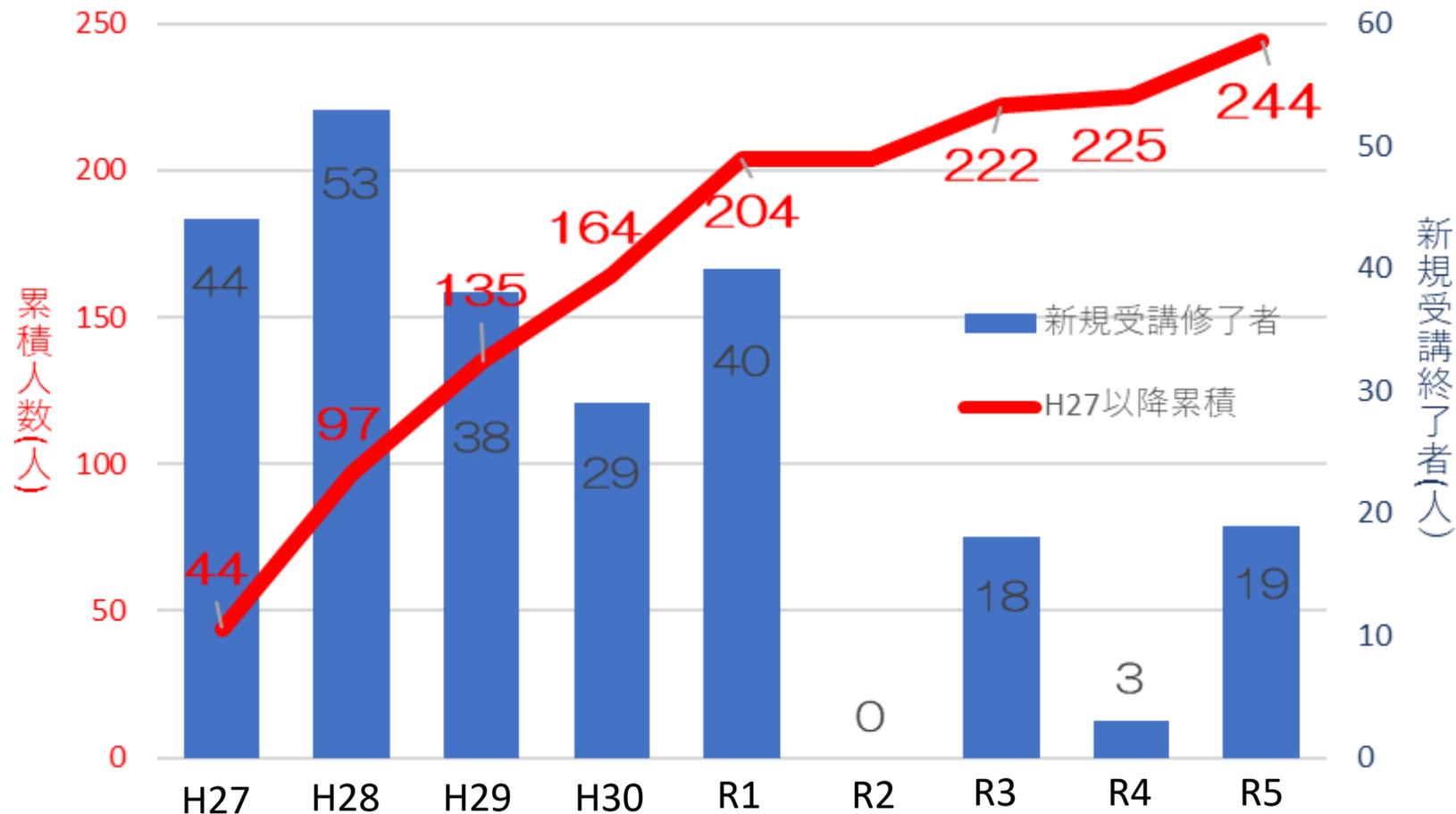
緩和ケアに関する
研修の開催

情報交換の場と
連携の構築

2. 具体的な成果

1. 当研究会で実施したNURSE-CST研修の受講者数

NURSE-CST：患者の感情表出を促すコミュニケーションスキル“NURSE”を用いた
コミュニケーション・スキル・トレーニング



2. 具体的な成果

2. 県内の医療・介護従事者にむけた研修会の開催実績

開催年度	テーマ	参加人数
平成30年	緩和ケア病棟について知ろう ～緩和ケア病棟のご紹介～	22名
令和元年	在宅緩和ケアにおける理学療法士の役割	22名
	多職種で考える地域緩和ケア	87名
令和3年	患者の思いを引き出すコミュニケーション	118名
	コロナ禍における緩和ケアの取り組み ～病院と地域をつなぐ～	98名
令和4年	患者の思いを引き出すコミュニケーション<続編>	48名

2. 具体的な成果

3. 県内の緩和ケアに関連した認定看護師の スキルアップを目的とした研修会の開催実績

緩和ケアに関連した認定看護師：緩和ケア認定看護師
がん性疼痛看護認定看護師

開催年度	テーマ	参加人数
平成28年	意思決定支援	19名
	NURSE-CSTファシリテーター養成研修	8名
平成29年	認知症のあるがん患者の緩和ケア	22名
	NURSE-CSTファシリテーター養成研修	5名
平成30年	NURSE-CSTファシリテーターフォローアップ研修	14名
令和元年	NURSE-CSTファシリテーター養成研修	5名
令和2年	オンラインツールを活用した研修運営	13名
令和4年	心不全患者の緩和ケア	15名

3. 今後も継続して実施する必要性

緩和ケアに携わる
認定看護師の
連携強化・スキルアップ

コミュニケーション・スキル・トレーニングに
よるACP実践能力や
意思決定支援の実践能力向上

石川県内の
緩和ケアの質の向上

緩和ケアに携わる
医療介護従事者の人材育成

がん患者の療養に関する
病院-地域の連携強化

4. 今後の取組と期待される効果

緩和ケアに関する
研修の開催

情報交換の場と
連携の構築

コミュニケーション
スキル研修

県内のがん患者と
その家族の
QOLの向上

地域の緩和ケア
の質の向上

各施設の緩和ケア
の質の向上

個々の会員の資
質・能力向上

【今後の取り組み/課題】

- 活動の継続
- 活動の成果の評価
→より具体化した活動の展開